

第 3 班

1. タイトル：まつりからはじめる世代間コミュニケーションの活性化
～若者世代の地域参加の促進と地域コミュニティの再生～
2. 報告書の概要：少子高齢化や価値観の多様化、都市化の進展などによって近隣の人々とのつながりが希薄化し、地域の連帯感が失われつつあることによる様々な地域課題が発生してきている。これらの地域課題を解決し、持続的発展が可能な地域コミュニティを形成するための鍵は、若者世代の地域活動への参加を促進し世代間ギャップの解消を図ることにある。そのための効果的手法として、地域で行われている身近な「まつり」を取り上げ、若者世代のまつりへの参加促進と、まつりを通じた地域人材の活用促進を図るために、次の3つの提言を行った。①企業・大学等との連携環境の整備～人材の発掘～②ステップアップシステムの創設～人材の育成～③地域活動若者参加推進協議会の設置～人材の活用～
3. 引用している事例：①高知県香美市商工会青年部（夏まつりインターンシップ）、②岡山県倉敷市玉島湊保勝会（住吉山さくらまつり）、③滋賀県長浜市曳山文化協会（長浜曳山祭り）、④愛媛県西条市（西条祭り）

アンケート調査の有無：無